

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（10月17日18時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (10月17日16時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P. + 850 mm未満)	O.P. + 3, 138 mm (10月17日7時から11 mm上昇)	O.P. + 3, 154 mm (10月17日7時から10 mm上昇)	—
	タービン建屋水位	O.P. + 3, 207 mm (10月17日7時から19 mm上昇)	O.P. + 3, 125 mm (10月17日7時から9 mm上昇)	O.P. + 3, 039 mm (10月17日7時から3 mm上昇)	O.P. + 2, 956 mm (10月17日7時から16 mm上昇)
	原子炉建屋水位	O.P. + 4, 637 mm (10月17日7時から18 mm上昇)	O.P. + 3, 202 mm (10月17日7時から10 mm上昇)	O.P. + 3, 116 mm (10月17日7時から9 mm上昇)	O.P. + 2, 953 mm (10月17日7時から6 mm上昇)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P. + 3, 858 mm (初期値からの増加量5, 075 mm, 10月17日7時から3 mm上昇) O.P. + 3, 490 mm (初期値からの増加量4, 216 mm, 10月17日7時から448 mm上昇) O.P. + 4, 281 mm (床面からの水位485 mm, 10月17日7時から1 mm上昇)		
滞留水の移送状況	1号機	2号機	3号機	4号機	
	—	2号機タービン建屋地下 →3号機タービン建屋地下 移送実施中 (10月10日10時20分～)	3号機タービン建屋地下 →集中廃棄物処理施設(高温焼 却炉建屋) 移送実施中 (10月4日10時26分～)	—	
	5・6号機 —				
水処理設備の運転状況	セシウム吸着装置 : 7月17日10時02分～ 停止中 第二セシウム吸着装置(サリー) : 10月17日7時27分～ 停止中※ 淡水化装置(逆浸透膜) : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置(蒸発濃縮) : 水バランスをみて断続運転				
その他特記事項	<p>・9月7日13時33分～ 2号機タービン建屋東側に設置されているウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの汲み上げ水を2号機タービン建屋に移送していたが、10月17日7時40分頃、汲み上げた水を受ける仮設ノッチタンク上部から溢水していることを確認したため、7時43分頃、汲み上げを停止。原因は、予備のポンプの絶縁不良で仮設ノッチタンクからの移送ポンプの電源であるディーゼル発電機が停止したため、溢水したものの。予備のポンプの取り外しを行い、ディーゼル発電機を再起動し、13時20分頃、移送ポンプの運転を再開。</p> <p>※ 第二セシウム吸着装置(サリー)において、バッセル交換のため、10月17日7時27分に同装置を一時停止。</p>				

・水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。